

リユース・リサイクルの対象物は保冷箱に入れて返却してください

毎週の配達時に配達担当者が回収します

✓ ミールキット(食材セット)のトレイ



洗って乾かして。割れがあってもOK

○ ミールキットのトレイ

✗ それ以外の商品のトレイ、コープ自然派以外のもの

回収したその先は？

再加工して再びミールキットのトレイに

これまでの回収量

約 14.5 トン (2024 ~ 2025 年 12 月)

✓ ポリ袋(ガゼット袋)



シールをはがして(または切り取って)  
※袋は破れていてもOK  
※シールがついたままだと異物となり再資源化できません。

○ 商品のまとめ袋、食材セットの外袋

✗ それ以外の袋、食材セットのラップ

回収したその先は？

再生プラスチックの原料になり、いろいろなプラスチック製品に

これまでの回収量

約 38 トン (2022 ~ 2025 年 12 月)

おねがい

蓄冷材や保冷シートなどは保冷箱に入れて、箱に貼ってあるお届けシールをはがしてから返却してください。注文書は透明ファイルにはさんで保冷箱に入れてください。これらはくりかえし使う組合員共有の財産なので、大切に扱ってください。なお、古くなった保冷箱は加熱して固めてリサイクルしています。

カタログ不要登録

注文番号 900003

オンライン注文が可能な方は商品案内(カタログ)の配布を停止できます。

※配布が止まる商品案内はポストイ/CaoCao/キャロットなどのチラシです。自然派オンラインに掲載のないチラシは配布を継続します。「一部商品案内(カタログ)のみ配布中止」の対応は行っておりません。

リサイクル資源の回収方法は  
ホームページにも掲載しています。



リユース・リサイクル  
これまでの取り組み

2019年4月	カタログ回収開始
2019年6月	リサイクル事業推進室設置 たまごモールドバック化プロジェクト発足 (2021年リサイクルプロジェクトに改称)
2021年7月	穂積養鶏でモールドバックの取組開始
2022年2月	ポリ袋(ガゼット袋)回収開始
2022年6月	籠谷のモールドバック卵取扱い開始
2022年9月	連合リサイクル委員会発足
2023年1月	PAF2030(2030年ビジョン)策定 2030年までにプラスチック廃棄量を 2020年度比50%削減する目標を設定
2024年5月	旭商事でモールドバック卵の取組開始
2024年5月	ミールキットリサイクルトレイでの供給 開始(6月より回収)
2025年6月	自然派Style万能つゆ リユースびんでの供給開始(7月より回収)

保存版 リユース・リサイクル リスト  
Reuse Recycle List



2026年3月現在

✓ リユースびん



洗って乾かして。ラベルはとらなくてOK

○ 「菜食健美」のびん、「万能つゆ」のリユースびん

✗ それ以外のびん、割れやひびのあるもの  
※以前リユースしていたヤマヒサの醤油びんは回収休止中です

回収したその先は？

洗浄・検品して、くりかえし使用します

これまでの回収量

約 5,700 本 (2025 年 12 月 時点) ※供給約 11 万本 / 年

✓ よつ葉乳業の牛乳パック



洗って乾かし、開いて

○ よつ葉乳業の紙パック商品

✗ それ以外の牛乳パック

回収したその先は？

ピュアブラウン・ダブル  
(トイレットペーパー)に



✓ 商品案内(カタログ)



○ ポスティ、CaoCao、その他商品案内(カタログ)

✗ 注文書、個人情報が含まれるもの(納品書・請求書)、  
濡れたり汚れたりしているもの、コープ自然派以外のもの

回収したその先は？

古紙としていろいろな紙製品に  
※古紙の売払収益を原資にリサイクル事業を進めています

これまでの回収量

約 10,096 トン (2019 ~ 2025 年 12 月)

✓ たまごの紙パック



40個のパックはリユース  
きれいな状態で  
返却してください

6個・10個のパックはリサイクル  
破れや濡れもOK、  
汚れた場合はその部分を切り取って

○ たまごの紙パック、元気たまご40個の箱

✗ 濡れたり汚れたりしているもの、プラスチックのパック  
コープ自然派以外のもの

回収したその先は？

紙パック(モールドバック)、段ボール、緩衝材、  
再生紙などに

これまでの回収量

約 100 トン (2022 ~ 2025 年 12 月)  
※プラスチック削減量は約 44 トン